

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成20年7月31日(木) 三回戦

Iコート 第2試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

彩夏到来 08 埼玉総体



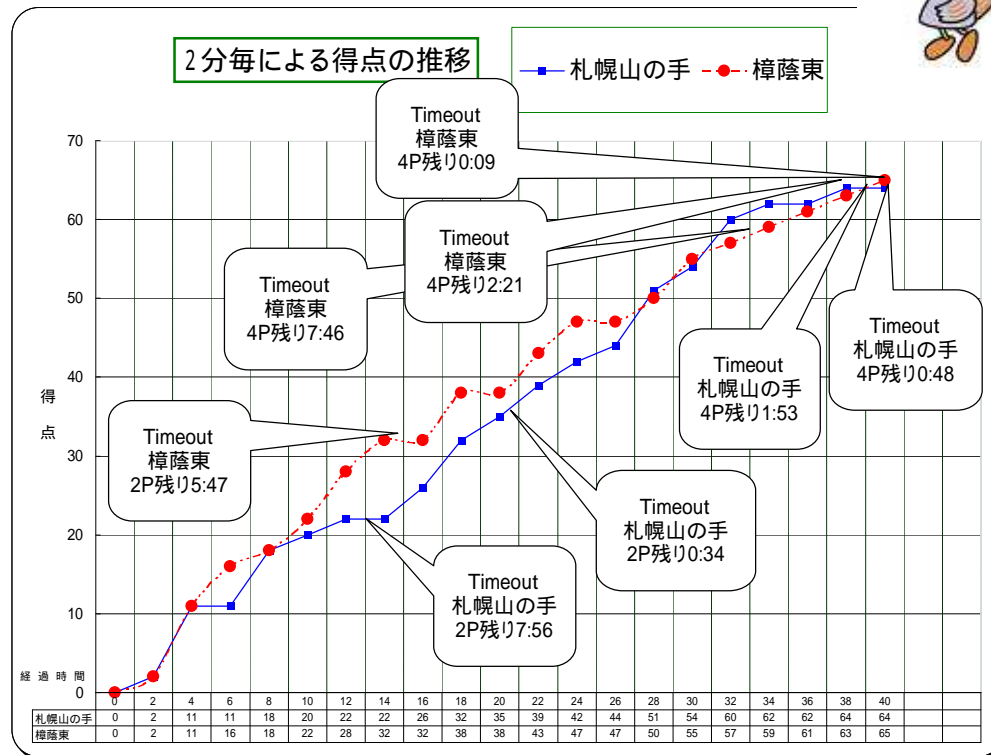
チームA		20 - 22 15 - 16 19 - 17 10 - 10	65	チームB
札幌山の手	64			樟蔭東
北海道				大阪

札幌山の手

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	齊藤桃子	X	0	0	1	0	5	0	1	0	3	5	5	1	2	0	24
5	平野咲子	X	19	0	0	7	15	5	7	4	2	8	6	2	4	0	37
6	山田千智	/	12	4	13	0	1	0	0	0	2	7	1	4	1	0	36
7	小山さおり	X	5	0	0	2	9	1	2	2	1	2	2	1	1	0	22
8	元茂麻湖																DNP
9	岡亜理紗																DNP
10	栃本美紗子	X	4	0	0	2	5	0	0	2	1	4	2	0	0	1	17
11	今野真澄	X	12	1	2	4	7	1	5	3	2	2	2	2	3	0	35
12	千田美喜子	/	12	0	0	6	7	0	1	2	4	1	5	0	2	1	25
13	高田汐織																DNP
14	本川紗奈生																DNP
15	町田瑠唯	/	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
コーチ	渡邊勝也									0	3	0	0				
出場: ×は先発、/は出場			64	5	17	21	49	7	16	14	18	29	24	10	13	2	200
確率			29.4%	42.9%	43.8%	計		47									

樟蔭東

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	藪田早紀	X	18	3	8	4	10	1	2	1	4	1	5	2	1	0	40
5	牧野由香	X	4	0	0	2	4	0	0	4	4	7	0	3	0	1	34
6	広倉綾乃	X	19	5	11	2	2	0	0	4	0	8	5	2	5	0	39
7	井上万理乃	X	12	1	7	3	5	3	5	1	3	3	2	1	1	1	40
8	田中望未																DNP
9	角畑莉子	/	2	0	3	1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	9
10	園田彬香	X	10	0	0	4	12	2	5	5	2	3	4	2	0	0	32
11	吉田緑																DNP
12	吉谷明希子																DNP
13	朝田桃子																DNP
14	妹尾奈津美																DNP
15	金澤春香	/	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	6
コーチ	森田久鶴									0	2	3	1				
出場: ×は先発、/は出場			65	9	29	16	38	6	12	16	17	28	16	10	7	2	200
確率			31.0%	42.1%	50.0%	計		45									



戦評
 今大会、スピードを活かしたトランジションゲームで勝ち上がり、波に乗る両者。超速のガードを擁した両者のアウトサイドブレイの戦いに注目したい。両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。
 第1P、お互いに当たりの強いディフェンスに対し、札幌山の手は#5平野のパワーブレイ、樟蔭東は#4藪田の3Pと#7井上を中心に序盤から点の取り合いとなる。4本の3Pを決めた樟蔭東が20対22と1ゴールリードで第1Pを終了。
 第2P、ミスの続いた札幌山の手に対し、樟蔭東は#6藪田の3Pと#7井上のシュートで一時は8点リードする。しかし、札幌山の手も#11今野のドライブインと#6山田の3Pで応戦し、35対38と3点差まで詰め寄り前半を折り返す。
 第3P、#5平野のパワーブレイに勢いづいた札幌山の手は#12千田のインサイドブレイで得点、一方樟蔭東は#6広倉が3Pを含む活躍を見せる。その後は、一進一退の展開となるが55対54と札幌山の手が1点リードし第4Pへ。
 第4P、突き放しにかかりたい札幌山の手は、さらに激しいディフェンスから相手のミスを誘い62対57する。樟蔭東はタイムアウト後の2-2-1ゾーンプレスから3-2ゾーンが成功し、残り3分で62対63と逆転する。札幌山の手は#7小山のシュートで再び逆転するが、樟蔭東は#4藪田がスティールからシュートを決め再び逆転する。残り8.6秒、札幌山の手は#11今野のドライブインでフリースローとなるも2本ともリングにはじかれ64対65と樟蔭東が接戦を制した。

主審	野口 浩正	副審	甲斐 清	戦評	大宮 史子 (埼玉県高体連)
----	-------	----	------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット